

「ひつじかいのこども」【出典:「1ねん いきるちから」日本文教出版】

主題名:うそばかりついていると【A-2誠実, 正直】

- 1 日 時 令和2年9月3日(木) 5校時
- 2 学 年 第2学年 6名
- 3 ねらい うそばかりついている人の言うことは、(どうせうそにちがいない) と思い、信じようと思わなくなると認識することで、うそをつかないで正直にしようとする心情を育てる。
- 4 主題設定の理由

単元観

第1学年及び第2学年の指導内容A-2 正直, 誠実「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること」に関する内容項目である。人から信頼されたい, よい人だと思われたい, 大切に思われたいというのは誰もが持っている願いである。しかし, そのためには日ごろの態度の積み重ねが大切であるということとは低学年の児童にはわかりにくい。羊飼いの子どもに何度もだまされ続けるうちに, 大人たちがどんな気持ちになっていくのか, また羊飼いの子どもの言うことに対してどんな思いを持つようになるのかを捉えさせる。うそばかりついている人の言うことは信用することができなくなることを理解させ, うそをついたりごまかししたりすることはいけないことだという心情を高めさせたい。

本教材は, イソップの有名な話である。退屈しのぎに「おおかみが来た。」とうそをついた羊飼いの子どもだが, そのうそを繰り返すうちに, 大人たちは羊飼いの言うことを信じなくなっていく。この大人たちの気持ちの変化を児童に捉えさせることで, うそばかりついている人の言うことを信じようと思わなくなること理解させるとともに, 自らの行動を改めようとするもののよさに気付かせることのできる資料である。

児童観

指導観

指導に当たっては, 導入では, うそをつきたくなる場面やうそをついてしまった経験について振り返りを行い, 本時の主題と自分との関わりを意識させたい。児童から経験が出にくい場合は, 教師から, 「宿題ができていないのに『できた。』と言ったこと」「人の嫌がることをやったのに『やっていない。』と言ったこと」はなかったかを問いかける。

また, 終末では本時の学習で考えたことを発表させ, 自分の生活との関わりを意識させたい。羊飼いの子どもや羊を守るために, はじめは大人たちが本当に心配して助けに行ったことを押さえることにより, うそは相手に大きな迷惑をかけることや相手からの信頼を失うことに気付かせたい。

5 本時の展開

(1) 評価について

【評価の観点】 うそばかりついている人の言うことは（どうせうそにちがいない）と思い、信じようと思わなくなることを考えている。

【評価の方法】 発言・道徳ノート

(2) 準備物

場面絵、短冊

(3) 展開

	学習過程	主な発問と予想される児童の心の動き 【○基本発問 ◎中心発問】	指導上の留意点 (○) 準備物など (●) 評価 (★)
導入	①「学習テーマの設定」 1 うそをつきたくなる時について思い出す。	○どんな時にうそをつきたくなりますか。 ・悪いことをして、ばれたら困る時 ・怒られるとわかっている時 ・宿題をやってないけど、やったとうそをついた。 ○どうしてうそをついてしまうのでしょうか。	○うそをつきたくなる場面を経験から紹介させながら、本時のねらいの方向づけをする。
展開	②「追求活動」 2 資料「ひつじかいのこども」を読んで考え、話し合う。 3 うそをつかないで生活することの大切さについて考え、自分を振り返る。	○「おおかみだ。」と聞いて、大人たちが牧場に出てきたのは、なぜでしょうか。 ・早く助けなくちゃ。 ・おおかみに、羊飼いの子どもと羊が食べられたら大変だ。 ・羊飼いの子どもがけがをする。 ○うそだと知った大人たちは、どんなことを思ったでしょうか。 ・もう助けない。 ・ひどい子どもだ。 ・こんなうそは許せない。 ・うそばかり。 ◎大人たちが牧場に出てきてくれなかったのは、どんな気持ちになったからでしょうか。 ・もうだまされない。 ・どうせ、またうそだろう。 ・信じられない。 ・もう助けに行かない。 ○うそやごまかしをしないことが、どうして大切なのでしょう。 ・うそをつくのは良くないことだから。 ・みんながいやな気持ちになるから。 ・信用してもらえなくなるから。 ・本当のことでも全部うそだと思われるようになるから。	○はじめは大人たちが本当に心配して助けに来たことを押さえておくことで、それがうそだとわかった時の気持ちを捉えやすくする。 ●場面絵を参考にして、大人たちの気持ちを発表させる。 ○大人たちがせっかく心配して助けに行ったのにうそだと知った時にどんな気持ちになったか考えさせる。 ●場面絵の吹き出しにはいる大人たちの気持ちを考えさせる。 ○道徳ノートP. 17に、大人たちの気持ちを書かせ、うそをつく人の言うことを信じようと思わなくなることに気付けるようにする。 ★うそをつく人を許せない、信用できないと思う気持ちを理解することができたか。(道徳ノート、発言) ○うそやごまかしはいつか必ずばれ、その時は怒られるし、少しずつ人からの信用を失っていくことになることに気付かせる。 ★うそやごまかしをしない方がよい理由を考えようとしているか。(発言)

